



《遅れる春の丘より》(長野県北安曇郡白馬村北城) 昭和61年(1986) 向井潤吉アトリエ館蔵

懐かしさに 心をゆだねる

佐野美術館45周年・三島市制70周年 記念
世田谷美術館所蔵による 生誕110年 向井潤吉
古民家を描く—日本の原風景をたずねて
2011.4.16[土]—5.22[日]



《山居立春》(神奈川県足柄上郡山北町世附) 昭和50年(1975) 向井潤吉アトリエ館蔵

民 家の画家「向井潤吉(1901~95)は、藁屋根の民家を描くことに半生をささげた洋画家です。その作品は、自然とともに暮らす人々の住まいが情趣豊かに表現されています。

《山居立春》は春のはじめの情景です。藁屋根や田畑にやわらかい日差しがそそぎ、晴れの合間をぬって干された洗濯物に、住人のささやかな喜びがうかがえます。しかしこの家は、まもなくダムとの底に沈みました。

向井は土地開発や過疎化で消えていく古民家を、全国に探し求めました。どんな辺境の地でも、画材道具を背に電車やバスを乗り継



ぎ、古民家の前に立てば、時の経つのも忘れて描きました。その制作態度は徹底していました。《遅れる春の丘より》を制作中のこと、近所の人が茶を勧めても、向井は「空気が動いているから」と、手を休めませんでした。向井は、刻々とうつろう光と影、草むらをぬける風、そこに住む人の息づかいさえ心に焼きつけ、肌を感じ、絵筆で表そうとしたのです。向井はこ

の仕事に「もう一生分すごしたい」ほどの幸せを覚え、古民家探訪の旅を88歳まで続けました。向井の作品には、いつかどこかで出会ったような懐かしさや、人の温かなぬくもりが感じられます。それはまた、向井が、自然とともにすごし土地の人々と交わる旅のうちに、全身でとらえた至福の境地、そのものといえましょう。(学芸グループ主任 河内えり子)

人形に 心を宿して

佐野美術館45周年・三島市制70周年 記念
没後30年 平田郷陽の人形 にほひたつ色香
2011.5.28[土]—7.10[日]

人 形を崇高な芸術にまで高めた作家、平田郷陽の展覧会を開催します。郷陽は明治36年(1903)東京浅草の人形師、初代平田郷陽の長男として生まれ、10代より父について人形制作を学びました。初代は、人間の姿を生きているかのように

そのまま写す生人形の作り手として知られ、郷陽もその技を厳しく仕込まれました。22歳で初代のあとを継ぎ、昭和3年(1928)人形芸術を極めるべく同志と「白澤会」を結成、昭和の人形芸術運動を牽引しました。このころの郷陽の作品には、正確無比な人体の動き、きめ細かな胡粉の塗り、人形の心を映し出す豊かな表情、人間と人形の境目を危うくするほどの迫りくる美しさがあります。戦後、郷陽は写実一辺倒ではない、新たな造形に挑戦します。特に女性をモチーフにした作品では、その清潔な色香や凛とした強さを的確に形にし、他の追随を許さぬ独自の世界を築き



《朝霜》 昭和30年(1955) 個人蔵

あげました。一方で郷陽は、子どもの表現にも長けていました。彼の作る子どもたちは、「生き生きとした」という言い方が追いつかないほど「子ども」そのものです。

最後に作家自身の言葉を紹介しましょう。「人形作りは、常に人形に心が宿ることを願いつつ、その芸に専念するものであり、たとえその素材は物質であろうとも、作品が魂のすみかとなることこそ、私の本望であります。」(『人形芸五十年・平田郷陽』昭和51年)(学芸グループ長 坪井則子)

《粧ひ》 昭和6年(1931) 横浜人形の家蔵
※展示期間：5月28日(土)~6月15日(水)

ミュージアムショップ

リアルフラワー アクセサリー

生花を特殊加工して製作したアクセサリーです。本物の花を使っているため1つとして同じものはありません。胸元、耳元に1ついかがでしょうか。

イヤリング 2,520円(税込)~ 2,730円(税込)
ブローチ 2,100円(税込)



手ぬぐいは額に飾ってインテリアとしてもお楽しみいただけます。 額 6,650円(税込)



手ぬぐい

今人気の手ぬぐい。春から初夏にかけての爽やかな柄を揃えました。おぼろ月夜、花菖蒲、白樺 各1,050円(税込)



端午の節句 かぶとや こいのぼりの手ぬぐいも販売中 各1,050円(税込)

プレゼントコーナー

※抽選で2名様に🔴マークの品を差し上げます。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想や隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントは本紙に掲載する可能性があります(お名前等の公表はいたしません)。しめきり：2011年5月15日(消印有効)
・当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
・いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。